

科目名	サブタイトル	担当教員	配置学年
文書表現技術 IA	社会人としての日本語力を身につける A	新島 尚子	1 年次前期
講義の目的	本講義は、社会人として必要な日本語の使い方や、基本的な知識を身につけることを目的とする。知識だけではなく、言葉の正確な使い方や読解力を身につけ、日常生活において言葉に対する関心を持ち、積極的に学ぶ姿勢を養う。		
到達目標	日本語力向上による総合的な学力、考える力、文章力、対話力の充実を目指す。また、文部科学省後援の日本語母語者を対象とした『日本語検定』該当級合格を目標とする。		
講義内容	『敬語』『文法』『語彙』『言葉の意味』『表記』『漢字』の6領域を中心に進める。理論説明から問題演習を通じ理解を深めていく。		
講義スケジュール	第1講	オリエンテーション：講義の目標、内容、進め方、評価方法等について説明 クラス分けテスト：レベル別にⅠクラス、Ⅱクラスに分け、習熟度を高める	
	第2講	敬語① 敬語の意義 分類 形式 動詞の敬意表現	
	第3講	敬語② 名詞の敬意表現	
	第4講	文法① 文法の仕組み 動詞の可能・使役表現	
	第5講	文法② 表記, 語彙 現代仮名遣い 送り仮名 語と語の関係	
	第6講	漢字① 二字熟語 類義語 対義語	
	第7講	漢字② 同音異義語 同訓異字語	
	第8講	言葉の意味① 四字熟語 諺 慣用句	
	第9講	言葉の意味② 間違いの多い表現	
	第10講	手紙文における常套表現	
	第11講	ビジネスシーンにおける敬意表現	
	第12講	課題レポート 発表・考察①	
	第13講	課題レポート 発表・考察②	
	第14講	総合問題	
	第15講	期末テスト対策	
指導方法	指定テキスト、配布レジュメに沿って解説と問題演習を行う。また、課題レポートを課し、知見を深めていく。		
授業外学習	授業前の事前学習として、各回のテキスト該当ページを一読し、未習の用語等について辞書を引き、課題をもって授業に臨む必要がある。また、事後学習として、授業時に学習した以外の事例について参考文献を調べ、自分で考察をまとめることにより、授業で学んだ知識が定着し、理解を深めていくことができる。		
成績評価方法	本試験(筆記試験)70%、平常点(発表・発言)15%、平常点(授業内課題)15%、計100%で成績評価する。		
テキスト	『ステップアップ日本語講座 中級』(東京書籍)、適宜プリント配布		
参考書籍	『日本語検定公式テキスト「日本語」上級』(東京書籍)		
特記事項	第1講でのレベル別テストの結果、クラス(Ⅰ/Ⅱ)を指定する。よって、受講希望者は必ず第1講に出席すること。『日本語検定』受検(本学にて実施)に関して、別途受験対策講座を設ける。		